

安全報告書 2011



秩父鉄道株式会社

1. 経営責任者からのメッセージ
2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標
3. 安全管理体制と方法
4. 輸送の安全への取組み
5. 安全確保のための教育・訓練
6. 鉄道事故等に関するご報告
7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

1. 経営責任者からのメッセージ

「安全報告書2011」の公表にあたって

秩父鉄道株式会社
代表取締役社長 大谷 隆 男

東北地方太平洋沖地震で被災された皆様にお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

平素より、秩父鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

秩父鉄道は、地域沿線のお客様の通勤・通学、また、観光に訪れるお客様の足として、「輸送の安全確保」を第一に掲げ、法令を順守し、意識改革の推進に努め、信用と親しみのある秩父鉄道を目指し、全社員一丸となって取り組んでおります。

本報告書は鉄道事業法に基づき、2010年度における当社の安全輸送のための取り組みや輸送の実態をご紹介しますために作成いたしました。皆様の声を、今後のより一層の安全輸送に役立てるため率直なご意見、ご感想をお聞かせいただければ幸いです。



2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標

(1) 基本方針

『輸送の安全確保、無事故・無災害の達成』を最優先として、社員一人ひとりが行動するための基本方針を、「安全行動規範」として掲げ全社員に周知しています。

「安全行動規範」

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 安全目標

年間ゼロ災害の必達

“スローガン”

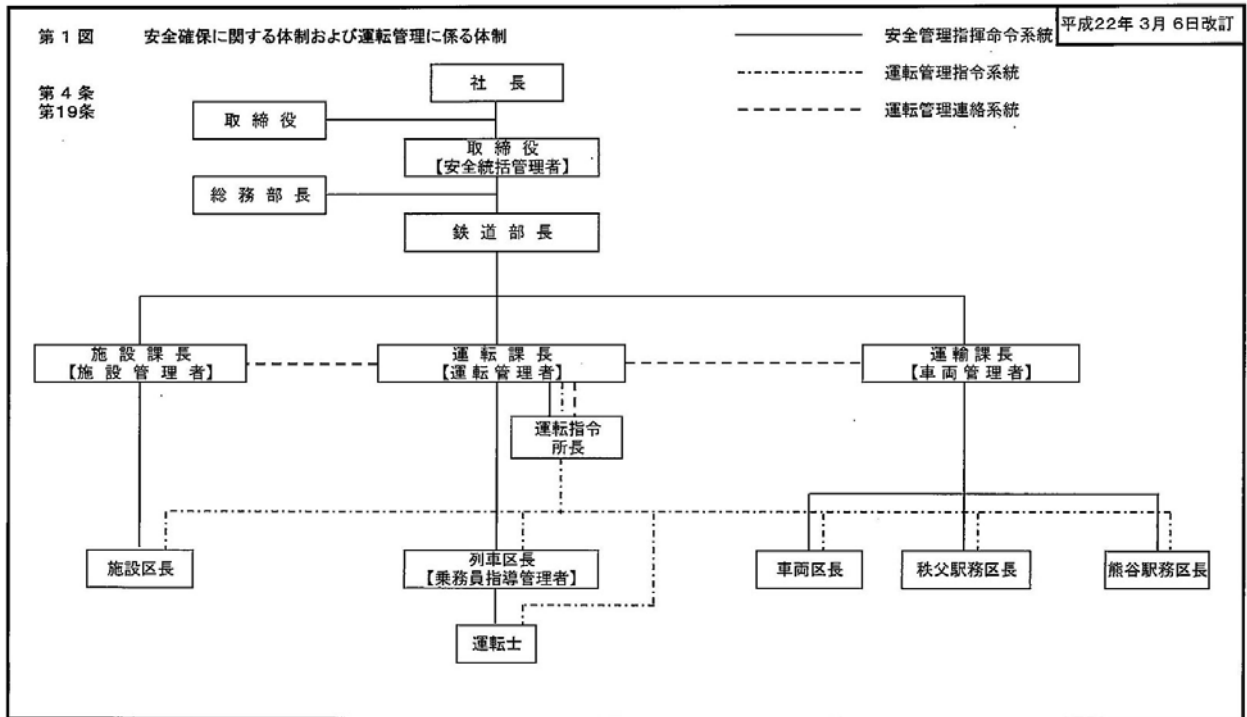
基本を守って安全作業
全員で約束しよう無災害

3. 安全管理体制と方法

(1) 安全管理体制

平成18年10月1日に制定された「秩父鉄道 安全管理規程」では、社長を最高責任者とし、社長が選任した安全統括管理者のもと、安全推進の管理体制を確立し、各管理者の役割と権限を明確に定めています。

役 職	役 割
社 長	安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するための最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。
鉄道部長	安全統括管理者の指揮の下、運転、施設、車両に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を管理する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を管理する。



(2)安全管理の方法

①運転事故防止対策委員会

安全統括管理者を委員長とする「運転事故防止対策委員会」を毎月1回開催し、事故、不具合等が発生した場合の多面的分析、再発防止施策の立案、審議等を行っています。また、年2回同委員会で現業職場において適正に業務が行われているか点検するための安全指導(巡回・列車添乗)を実施し、現業職場の実態の把握に努めています。

②職場巡視

夏季運転無事故運動、年末年始輸送安全総点検の運動期間中、会長、社長、役員、各課長が現業職場を巡回訪問し、各職場から提出の各運動実施計画書に基づき、作業の視察や係員との意見交換を行い、双方向のコミュニケーションを図っています。

③内部監査と教育

2008年度より、安全マネジメント態勢の有効性と安全管理体制の適合性を確認するため内部監査員が監査チームとなり、“鉄道部内部監査”を実施しております。社長(経営トップ)をはじめとする経営管理部門へのインタビューのほか、現業職場長に対し安全管理規程、その他の規程等に適合した業務の遂行を確認し、是正・改善するなど PDCA サイクルが適切に機能しているか社内診断を行っています。

(3)安全管理体制の教育

運輸安全マネジメント内部監査員研修を受講した者が、安全統括管理者および運転管理者、その他の管理者と同行して現業職場において開催される各会議を利用し、運輸安全マネジメント態勢の生い立ちから、安全管理規程の記載内容について理解し易い資料に沿って、全社員が安全管理体制および安全管理規程の理解を深めるための教育を行っています。今後も継続して実施して参ります。

4. 輸送の安全への取組み



7500系・7000系・6000系電車

2010年度も列車運行の安全性の確保・維持と改善、旅客サービスの向上のため、安全対策、修繕工事やバリアフリー化工事を実施しました。これらのうち主な安全への取組みについてご紹介いたします。

(1) 2010年度の安全対策、バリアフリー工事・修繕工事費

安全対策更新工事	386,034千円
主な線路関係修繕	65,966千円
主な電気関係修繕	38,657千円
バリアフリー工事	88,496千円
計	579,153千円

(2) 2010年度の安全対策、バリアフリー工事・修繕概要

①車両の更新

現在、秩父鉄道の主力として走っている1000系電車は各種リバイバルカラー等でご好評をいただいておりますが、新造後の経年を考慮して代替を進めております。2009年度に続いて、2010年度は2編成6両を東急電鉄から購入した8090系電車に秩父鉄道仕様の運転保安装置等を搭載し、車内旅客案内表示器、自動放送装置、車椅子スペース設置等のバリアフリー化のうえ、7500系電車として運用を開始しました。2011年度も1000系電車3編成9両の代替を予定しており、今後も計画的に電車の代替を進めてまいります。

②重軌条交換

安全確保のための中長期整備計画に基づき、2009年度は行田市駅構内及び行田市駅～持田駅間1.76kmのレールを交換しました。2010年度もレール頭部磨耗や継目の傷みが発生している武州荒木駅～東行田駅間の1.67kmの37kgレールを太い50Nレールに交換し、列車走行音の低減と安全性と乗り心地の向上を図りました。今後も計画的に重軌条化を進めてまいります。

③コンクリート枕木化

列車が高速で走る区間や貨物列車を運転している区間から順次、木枕木をレールの締結力が強いコンクリート枕木に交換し、レールの劣化を防ぐとともに乗り心地の向上を図っています。2009年度の2,795丁に続いて2010年度は持田-熊谷駅間、寄居-波久礼駅間、皆野-大野原駅間の2,820丁をコンクリート枕木に交換しました。2011年度は皆野-和銅黒谷駅間他の1,000丁のコンクリート枕木化を予定しております。

④分岐・橋・継目枕木交換

経年劣化した分岐枕木、橋枕木、継目枕木等1,711丁を新しい枕木に交換しました。

⑤軌道整備

線路の道床交換を180m実施し、道床碎石を804トン補充のうえ、マルチプルタイタンパーによる軌道整備を77.4km実施しました。

⑥踏切道の安全性向上

2010年度は第4種の秩父本線 東行田No.5踏切道に警報機と遮断機を設置しました。2011年度は第4種の武州荒木No.4踏切道に警報機と遮断機を設置し、踏切道の安全対策を推進します。

⑦踏切保安設備の主要部品の更新

秩父本線と三ヶ尻線の第1種踏切道の踏切保安設備の経年した踏切遮断機22台と列車検知装置64式を更新しました。

⑧駅の信号装置の更新

秩父本線の各駅に設置されている信号保安装置(継電連動装置)の更新を進め、列車運行の安全性確保に努めています。2010年度は大麻生駅の継電連動装置を更新し、引続き2011年度は永田駅の継電連動装置の更新を予定しております。

⑨電力管理システムの更新

秩父本線と三ヶ尻線に設置された8変電所を遠隔監視制御している電力管理システムの電子計算機2台を更新し、列車運行に使用する電力の安定供給を図りました。

⑩架線の張替

摩耗や経年劣化が進んだ電車線818mと吊架線1,518mの張替えを行いました。

5. 安全確保のための教育・訓練

(1) 現業職場における各種訓練

各現業職場において、春の全国交通安全運動など年4回実施される交通安全運動の期間中に車両応急処置訓練、高所作業訓練等を実施し、係員の知識技能の維持と向上を目的とし取り組んでおります。



春の交通安全運動踏切ピラ配布



運転士単独一年経過教習



異常時総合訓練

6. 鉄道事故等に関するご報告

2010年度に発生した「鉄道運転事故」「輸送障害」「インシデント」の発生件数は以下のとおりです。

鉄道運転事故	5件
・踏切障害事故	4件
・鉄道人身障害事故	1件

※ 鉄道運転事故とは、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身傷害事故をいいます。

輸送障害	7件
・自然災害等によるもの	2件
・設備の故障によるもの	3件
・自殺等によるもの	2件

※ 輸送障害とは、列車の運転を休止したもの、または、30分以上の遅延を生じたものをいいます。

インシデント	0件
--------	----

※ インシデントとは、運転事故が発生するおそれがあると認められた事態をいいます。

7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

(1) バリアフリー化

寄居駅の橋上駅舎と旅客乗降用ホームの段差を解消するため、ラッチ内コンコースにエレベーターを新設いたしました。

(2) サービス介助士資格の取得

高齢化社会を迎えるとともに、多くのお客様に安心して鉄道をご利用いただけるよう、職員のサービス介助士資格の取得を推進しております。2010年度までに駅係員17名、列車乗務員3名が資格を取得いたしました。

(3) AED の設置

秩父鉄道では、お客様の急病等万一の事態に備え羽生駅、熊谷駅、寄居駅、長瀨駅、御花畑駅に AED (自動体外式除細動器) を設置しております。

(4) こども110番の駅

通学や学習塾などに通うため鉄道を利用するお子さまが、より一層安心して駅を利用することができる環境づくりを目指し「こども110番の駅」の取組に参加しています。こどもを危険から守り、安全な地域づくりに貢献することを目的に積極的に推進して参ります。



寄居駅エレベーター

この安全報告書に関するご意見、お問い合わせ等は 秩父鉄道株式会社 鉄道部 運転課
TEL 048-523-3871 まで、お願いいたします。